

「おはようボランティア」の1学期活動状況について

1. 目的

児童に挨拶等の働きかけを行う活動を通して、地域の方々が児童への関心を高めるとともに、地域において児童の健全育成と安全な環境づくりに関心が高まることを目的とする。

また、学校は、おはようボランティアと協力して児童と地域との関わりづくりを促進する。

2. 活動の内容

おはようボランティアは、各自の自主的な活動として、児童に挨拶等の働きかけを行う。なお、活動の時間・場所及び活動の形態等は学校との協議による。

3. ボランティア登録人数

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30人～
1校	20校	8校	5校	1校

登録者数が0人の学校は、以前から自宅付近の通学路や交差点で地域の方や保護者が同様の声かけ活動を行っている。

1校あたり平均 10.8人

4. 活動の時間・場所

校門付近	31校
交差点付近	14校(15校)
自宅付近の通学路	14校(15校)

登校時	34校(35校)
下校時	8校(9校)

5. おはようボランティアの主な意見・感想

- ・ ボランティアに参加して
気持ちいい・うれしい。
子どもたちから元気をもらっている。
参加するのが楽しみだ。
- ・ 子どもがよく挨拶してくれるようになった。
- ・ 今後もさらに続けていきたい。

6. 校長の主な意見

進んで挨拶をする児童が増えた。

児童と地域のボランティアさんとのふれあいが深まった。

中学生や、地域の方々との挨拶も広がった。

ボランティアさんのおかげで、心強く安心して生活できた。

地域の学校教育活動に対する関心が高まった。

今後もさらに継続をしていきたい。

ボランティアさんに心から感謝する。

7. 児童のアンケート結果（1校抽出、3年生以上各1クラス 126名）

	おはようボランティアさんに声をかけられて			
	うれしい	ちょっとうれしい	ちょっといや	いや
中学年	46.7%	41.7%	8.3%	3.3%
高学年	21.2%	50.0%	19.7%	9.1%

8. 成果と課題

成果

児童の成長を支えている

- ・ 今までなかなか挨拶を交わせなかった児童も、活動を重ねていく中で、大きな声で挨拶ができるようになってきた。

安心して学校生活を送ることができる

- ・ 多くのボランティアの方々にとくさんの場所で見守っていただけることで、大きな安心感につながった。

学校と地域の交流が広がった

- ・ 児童にとって地域の人との顔見知りが多くなり、朝の活動時間以外でも顔を合わせたときにも挨拶の輪が広がった。
- ・ 地域の方々の学校・児童に対する関心が高まった

課題

活動の充実と定着を図るために、他の地域活動、特に三者連携との関わり、また、ボランティアとしての活動の範囲や安全等が課題である。地域、学校、ボランティアと協議しながら進める必要がある。

9. 今後の「おはようボランティア」

1学期の活動を通して、目標に迫ることができ、ボランティア、学校、児童にも概ね好評であることを踏まえ、2学期以降も継続していきたい。

